

I 平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

公益法人制度改革関連法の規定に基づき、平成24年4月1日付けをもって、公益財団法人埼玉県消防協会へ移行した。この移行と共に公益性をより高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じ、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っているが、その概要は次のとおりである。

1 主な事業の概要

(1) 埼玉県女性消防操法大会

平成29年8月19日(土)県消防学校を会場とし、県と共催により県内初の「埼玉県女性消防操法大会」を実施した。

同大会には、毛呂山消防団、熊谷市消防団、深谷市消防団の3隊が出場し、女性消防団員の消防技術の向上と士気の高揚が図られ、消防団活動の充実発展に寄与した。

また、競技終了後は、日高市消防団、小鹿野町消防団、日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターの操法展示及び羽生市消防団、戸田市消防団による訓練展示も行われた。

なお、熊谷市消防団女性消防隊が優勝の栄誉に輝き、平成29年9月30日(土)に秋田県で開催された第23回全国女性消防操法大会に出場し、優秀な成績を収めた。

(2) 第69回定例表彰式

ア 表彰式概要

平成29年10月26日(木)「さいたま市民会館うらわ」を会場として、消防団、消防団員及び企業など延べ57団体2,655人を表彰した。

イ 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員 8 人に死亡特例表彰を授与した。

(3) 慰霊祭事業

ア 慰霊祭

平成 29 年 11 月 20 日（月）県消防学校の屋内訓練場を会場として、消防殉職・殉難者 84 柱の御霊に対する慰霊祭を挙行、遺族及び消防関係者 307 人が参列した。

イ 死亡弔慰金の交付 在職中に死亡した消防団員 8 人、消防職員 1 人の計 9 人の遺族に対して弔慰金を交付した。

(4) 消防団員研修事業

ア 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

県防災学習センターにおいて、県内における住宅用火災警報器の設置率向上を目的とし、西入間広域消防組合消防本部の「山下二男氏」を講師に迎え、住宅用火災警報器設置推進指導員研修を 2 回実施、消防団員等 219 人（女性 39 人）が受講した。

回数	実施日	受講者数（うち女性団員数）
第 1 回	平成 29 年 9 月 23 日（土） 10 時 00 分～11 時 30 分	115 人（21 人）
第 2 回	平成 29 年 9 月 23 日（土） 13 時 00 分～14 時 30 分	104 人（18 人）
合 計		219 人（39 人）

イ 女性消防団員研修

埼玉県央広域消防本部 屋内訓練場において、女性消防団員を対象として災害時の被害軽減を目的とした「DIG 訓練（災害図上訓練）」を実施した。

講師は、元川越市消防団員で「防災士」として活躍中の「田中緑氏」及び同じく防災士の「大沼早苗氏」、「二崎博美氏」、「高橋さとみ氏」、「対馬代志子氏」、「有山志のぶ氏」に依頼した。

なお、田中緑氏以外の方々は、現役の女性消防団員である。

実施日	受講者数
平成 29 年 12 月 9 日（土）	82 人

ウ 消防団長等幹部研修会

平成29年11月22日（水）さいたま市別所沼会館において、消防団長等幹部研修会を開催した。

同研修会には、消防団長等78人が参加した。

講師には、前消防庁次長の「大庭誠司氏」を招き、「我が国の危機管理」についての講演が行われ、大変好評であった。

エ 消防団員基礎教育研修

県消防学校と連携し、現地研修修了者（概ね入団3年以内）の新入消防団員を対象とした基礎教育研修を5回実施、合計548人（女性36人）が受講した。

回数	実施日	受講者数（女性数）
第1回	平成29年12月16日（土）	120人（8人）
第2回	平成30年1月13日（土）	101人（5人）
第3回	平成30年2月10日（土）	99人（2人）
第4回	平成30年2月24日（土）	114人（13人）
第5回	平成30年3月4日（日）	114人（8人）
合 計		548人（36人）

オ 消防団員幹部研修（初級幹部科・指揮幹部科）

県消防学校と連携し、消防団幹部を対象とした初級幹部科・指揮幹部科（現場指揮課程・分団指揮課程）の研修を実施、合計232人（女性1人）が受講した。

種 別	実施日	受講者数（女性数）
初級幹部科	平成30年1月26日（金） 1月27日（土）	87人（0人）
指揮 幹部科	現場 指揮課程 平成30年2月2日（金） 2月3日（土）	55人（0人）
	分団 指揮課程 平成30年3月10日（土）	90人（1人）
合 計		232人（1人）

カ 日本消防協会研修

「消防団幹部特別研修」に男性団員 1 人(所沢市)、「消防団幹部候補中央特別研修」に男性団員 3 人(1・3・4ブロック各 1 人)、女性団員 2 人(1・4ブロック各 1 人)を日本消防協会に推薦し、平成 30 年 1 月から 2 月にかけて「消防団幹部特別研修」 1 名、「消防団幹部候補中央特別研修」 5 人(うち女性 2 人)が受講した。

(5) 普及啓発・活性化事業

ア 全国女性消防団員活性化事業

第 23 回全国女性消防団員活性化「広島大会」が平成 29 年 1 月 16 日(木)に開催され、本県からは、消防協会長のほか 14 消防団から女性消防団員等関係者 57 人が参加した。

イ 防火ポスターの募集及び配布

全日本消防人共済会の依頼を受け、県内小中学校あてにポスター等の募集を行うとともに、防火ポスターの配布を行った。

今年度は、応募のあった 31 点から防火ポスター 2 点を推薦し、松伏町立松伏小学校 5 年生「栗谷川詩温さん」の作品が佳作に入選となった。

なお、全日本消防人共済会から提供のあった防火ポスター 1,088 枚を県内消防団に配布した。

ウ 埼玉県防災講演会

埼玉県防災学習センターとの共催により、県内 2 会場において災害リスク評価研究所代表の「松島康生氏」を講師に迎え、県民、消防職団員等を対象に防災講演会を実施した。

なお、開催地、実施日及び受講者等については、以下のとおりである。

回数	開催場所	実施日	受講者数
第 1 回	戸田市新曽福祉センター	平成 29 年 7 月 29 日(土)	223 人
第 2 回	熊谷市妻沼中央公民館	平成 29 年 11 月 25 日(土)	354 人
合 計			577 人

(6) 福利厚生事業

ア 消防団員等福祉共済制度

公益財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした消防団員等福祉共済の加入給付手続を行っている。

平成29年度は、遺族援護金11件、障害見舞金0件、生活援護金1件、入院見舞金64件、合計76件で総額14,611,500円を給付した。

イ 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の給付を行っている。

平成29年度は該当なしであった。

2 役職員に関する事項（平成30年3月31日現在）

(1) 役員数

役職名	常勤	非常勤	備考
会長	0	1名	代表理事
副会長	0	4名	理事
理事	1名	17名	専務理事1名、常務理事1名
監事	0	4名	団長職2名、会計管理者2名
評議員	0	16名	団長職
計	1名	42名	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%

(2) 事務局職員数

・常務理事兼事務局長	(常勤)	1名
・次長	(常勤)	1名
・主査	(常勤)	1名
・書記	(非常勤)	1名

(3) 組 織

ア 役 員

会 長(1) 坂田 秋雄(團長)

副会長(4) 内村良一(團長) 倉田健次(團長) 針替一浩(團長) 本間雄一郎(團長)

理 事(18) 新井 義一(専務理事) 小竹 清司(常務理事)

槍田 義之(県危機管理防災部長)

団 長(10)

市 長 会(2)

町 村 会(2)

消 防 長 会(1)

監 事(4) 団 長(2)

市会計管理者(2)

評議員(16) 団 長(16)

イ 事務局

常務理事兼事務局長(1) 小竹 清司

次 長 (1) 岡野 和男

主 査 (1) 鷹野 淳子

書 記 (1) 舞原 美智子

3 その他

付属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。